

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月26日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 諸富 滋 TEL 03-3282-0009
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	244,691	△6.7	37,343	△3.0	32,581	△15.4	15,440	△31.9
23年12月期第3四半期	262,358	△13.8	38,503	15.8	38,523	13.3	22,672	57.3

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 18,348百万円 (16.7%) 23年12月期第3四半期 15,719百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	28.14	28.12
23年12月期第3四半期	39.82	39.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	656,996	539,682	82.0
23年12月期	658,873	540,023	81.8

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 538,783百万円 23年12月期 538,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	-	10.00	-	10.00	20.00
24年12月期	-	10.00	-	-	-
24年12月期 (予想)	-	-	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	333,000	△3.1	52,000	11.6	46,500	△0.5	23,000	△10.2	41.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	576,483,555株	23年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	29,048,152株	23年12月期	21,037,327株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	548,757,014株	23年12月期3Q	569,392,449株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から9月30日までの9か月間）における我が国経済は、復興関連需要などから底堅く推移しましたが、世界景気の減速を背景として輸出が弱含むなど、回復の動きに足踏みがみられる状況となっております。

医薬事業では、ジェネリック医薬品の使用促進、欧米製薬企業や専業大手の攻勢、国際的な新薬開発競争の激化など、引き続き厳しい競争環境となっております。このような状況下において、国内営業の更なる強化に努め、主力製品の販売拡大及び新製品の早期市場浸透を図ってまいりました。

バイオケミカル事業では、医薬・医療用途を中心とするアミノ酸・核酸関連物質等の高付加価値品の拡販を図りました。ヘルスケア製品では、「リメイク オルニチン」など独自ブランド素材を中心とする通信販売リメイクシリーズの強化に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年3月末をもって化学品事業（前年同期の売上高335億円、営業利益21億円）が連結除外となった影響もあり、2,446億円（前年同期比6.7%減）となり、営業利益は373億円（同3.0%減）、経常利益は325億円（同15.4%減）、四半期純利益は154億円（同31.9%減）となりました。

なお、3月27日に富士フイルム(株)との間で設立したバイオシミラー医薬品の開発・製造・販売の合弁会社（関連会社）である協和キリン富士フイルムバイオロジクス(株)を新たに持分法の適用範囲に含めております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

国内の医療用医薬品は、主力品が順調に推移したものの、4月に実施された薬価基準の引下げの影響等により、売上高は前年同期を下回りました。

製品別には、主力製品である腎性貧血治療剤「ネスプ」が好調に推移したほか、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「レグバラ」、経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「フェントス」、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」等が伸長しました。また、5月には成人T細胞白血病リンパ腫治療剤「ポテリジオ」、7月にはパーキンソン病治療剤「アボカイン」の販売を開始し、いずれも順調に推移しました。一方、花粉飛散量が少なかった影響等により、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」の売上高は前年同期を下回りました。

医薬品の輸出及び技術収入では、輸出が堅調に推移したことに加えて、協和キリン富士フイルムバイオロジクス(株)からの技術収入を計上したため、前年同期の売上高を上回りました。

なお、前年6月末から連結をしたProStrakan Group plc及びその子会社11社は、概ね計画並みに堅調に推移しており、売上高は115億円、営業損失（のれん等償却後）は25億円となりました。

この結果、医薬事業の売上高は、1,824億円（前年同期比8.4%増）となり、営業利益は348億円（同5.2%増）となりました。

新薬の開発においては、がん領域では、国内において、3月に成人T細胞白血病リンパ腫治療剤「ポテリジオ」の承認を取得し、5月に発売しました。また、協和メデックス(株)では、3月に「ポテリジオ」の投薬を判断するための補助に使用される体外診断用医薬品「ポテリジオテスト」の承認を取得し、5月に発売しました。海外においては、8月に欧米で成人T細胞白血病リンパ腫を対象としたKW-0761の第Ⅱ相臨床試験を開始しました。また、5月にPegfilgrastim（製品名「Neulasta」）の承認を韓国にて取得しました。

腎領域では、国内において、9月に小児の腎性貧血を対象としたKR N321の承認申請を行いました。また、2月に2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象としたRTA 402の前期第Ⅱ相臨床試験を開始しましたが、リアタ・ファーマシューティカルズ社による海外第Ⅲ相臨床試験が安全性上の懸念から中止が決定されたことを受け、10月に本試験の中断を決定しました。海外においては、事業環境等の変化を踏まえたポートフォリオの見直しにより、インドにおいて実施していた透析患者における腎性貧血を対象としたKR N321の第Ⅲ相臨床試験を9月に中止しました。

中枢神経系領域では、国内において、3月にパーキンソン病治療剤「アボカイン」の承認を取得し、7月に発売しました。また、3月にパーキンソン病治療剤KW-6002の承認申請を行いました。さらに、5月に帯状疱疹後神経痛患者を対象としたKH K6188の第Ⅱ相臨床試験を開始しました。

バイオケミカル事業

アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料は、海外での需要が引き続き旺盛であることを受け、増産や販売価格の見直しを実施したものの、円高の影響を受けたことから、売上高は前年同期を下回りました。

ヘルスケア製品では、「リメイク オルニチン」をはじめとする通信販売事業が、順調に伸長しておりますが、飲料・食品用原料素材の販売が低調に推移したことなどから、売上高は前年同期を下回りました。

また、第一ファインケミカル(株)は、昨年完工した医薬品原薬・医薬部外品原料などに使用されるトラネキサム酸の製造設備が本格稼働し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

この結果、バイオケミカル事業の売上高は、574億円（前年同期比2.5%減）となり、営業利益は22億円（同26.7%減）となりました。

その他事業

その他事業（物流業等）の売上高は、77億円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は2億円（同1.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億円減少し、6,569億円となりました。流動資産は、資金運用としての親会社への短期貸付金や棚卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ11億円減少し、2,830億円となりました。固定資産は、販売権が増加しましたが、投資有価証券の減少や償却によるのれんの減少等により7億円減少し、3,738億円となりました。

負債は、賞与引当金が増加しましたが、支払手形及び買掛金や未払金が増加したため、前連結会計年度末に比べ15億円減少し、1,173億円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上や為替換算調整勘定の増加がありましたが、自己株式の取得や配当金の支払い等の要因により、前連結会計年度末に比べ3億円減少し、5,396億円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.2ポイント増加し82.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月19日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,063	26,546
受取手形及び売掛金	99,109	92,374
商品及び製品	36,840	39,833
仕掛品	12,232	12,604
原材料及び貯蔵品	9,907	10,524
繰延税金資産	8,629	9,030
短期貸付金	82,958	84,074
その他	8,067	8,434
貸倒引当金	△591	△325
流動資産合計	284,217	283,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	129,190	131,553
減価償却累計額	△91,855	△93,732
建物及び構築物（純額）	37,334	37,820
機械装置及び運搬具	139,796	139,030
減価償却累計額	△120,761	△122,306
機械装置及び運搬具（純額）	19,034	16,723
土地	53,954	53,581
建設仮勘定	6,221	11,568
その他	46,967	48,421
減価償却累計額	△40,569	△41,989
その他（純額）	6,398	6,431
有形固定資産合計	122,943	126,125
無形固定資産		
のれん	177,267	169,923
販売権	29,025	34,951
その他	4,324	3,401
無形固定資産合計	210,616	208,275
投資その他の資産		
投資有価証券	24,818	22,593
繰延税金資産	6,680	7,362
その他	9,958	9,909
貸倒引当金	△361	△367
投資その他の資産合計	41,096	39,497
固定資産合計	374,656	373,899
資産合計	658,873	656,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,341	24,165
短期借入金	5,943	5,679
未払金	31,009	26,694
未払法人税等	7,821	9,605
売上割戻引当金	667	516
ポイント引当金	167	208
賞与引当金	161	4,137
その他	5,254	6,574
流動負債合計	78,366	77,582
固定負債		
長期借入金	98	43
繰延税金負債	10,926	10,689
退職給付引当金	20,654	19,807
役員退職慰労引当金	94	104
環境対策引当金	737	539
資産除去債務	654	659
その他	7,317	7,888
固定負債合計	40,484	39,731
負債合計	118,850	117,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	512,348	512,329
利益剰余金	34,956	39,368
自己株式	△19,194	△26,525
株主資本合計	554,856	551,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,144	△2,205
為替換算調整勘定	△12,841	△10,928
その他の包括利益累計額合計	△15,986	△13,134
新株予約権	250	178
少数株主持分	902	720
純資産合計	540,023	539,682
負債純資産合計	658,873	656,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	262,358	244,691
売上原価	115,024	90,305
売上総利益	147,334	154,386
販売費及び一般管理費		
研究開発費	34,032	33,626
のれん償却額	7,768	9,127
その他	67,029	74,288
販売費及び一般管理費合計	108,830	117,043
営業利益	38,503	37,343
営業外収益		
受取利息	343	436
受取配当金	334	477
為替差益	—	106
デリバティブ評価益	296	—
持分法による投資利益	189	—
その他	713	913
営業外収益合計	1,878	1,933
営業外費用		
支払利息	110	150
為替差損	570	—
デリバティブ評価損	—	134
持分法による投資損失	—	4,643
固定資産処分損	453	631
その他	724	1,135
営業外費用合計	1,858	6,694
経常利益	38,523	32,581
特別利益		
関係会社株式売却益	7,339	—
貸倒引当金戻入額	104	—
特別利益合計	7,444	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2,011	905
投資有価証券売却損	—	340
アドバイザー費用	1,062	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	447	—
災害による損失	447	—
減損損失	273	—
関係会社整理損	209	—
過年度ポイント引当金繰入額	128	—
特別損失合計	4,580	1,246
税金等調整前四半期純利益	41,387	31,335
法人税等	18,640	15,847
少数株主損益調整前四半期純利益	22,746	15,488
少数株主利益	74	47
四半期純利益	22,672	15,440

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,746	15,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△783	934
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△6,238	1,921
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	4
その他の包括利益合計	△7,027	2,860
四半期包括利益	15,719	18,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,690	18,293
少数株主に係る四半期包括利益	28	55

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成23年8月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、平成24年2月23日の買付をもって取得を終了しました。主にこの結果により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が7,331百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は、26,525百万円となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	化学品	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	168,088	56,264	32,787	5,218	262,358	—	262,358
セグメント間の内部売上高	129	2,709	762	2,637	6,239	△6,239	—
計	168,218	58,973	33,550	7,856	268,598	△6,239	262,358
セグメント利益	33,114	3,018	2,135	255	38,524	△20	38,503

注1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「化学品」セグメントに属していた協和発酵ケミカル(株)及び同社の子会社であるミヤコ化学(株)については、平成23年3月31日に、当社が保有する協和発酵ケミカル(株)の全株式を譲渡したことにより、第1四半期連結会計期間末をもって連結の範囲から除外したため、「化学品」セグメントの資産の金額はなくなっております。また、「医薬」セグメントの資産の金額が前連結会計年度末に比べて36,382百万円増加しておりますが、その主な要因は、ProStrakan Group plcの全株式を取得し、第2四半期連結会計期間末より同社及びその子会社10社(医薬セグメント)を新たに連結の範囲に含めたことによる増加であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	182,272	56,193	6,225	244,691	—	244,691
セグメント間の内部売上高	133	1,295	1,477	2,906	△2,906	—
計	182,406	57,488	7,703	247,597	△2,906	244,691
セグメント利益	34,837	2,213	259	37,311	31	37,343

注1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額31百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。